

## 国語

## 3年生 | 「ことわざについて調べよう」

日常生活につながっていることを  
子ども自身が実感できる言葉の学習

～4年生になった自分たちを応援する「ことわざカレンダー」をつくろう～

## 1. はじめに

「アクティブ・ラーニング」について、教育現場でも本格的に議論され始め、たくさんの実践が行われています。今回は、光村図書3年(下)の「ことわざについて調べよう」という教材について、アクティブ・ラーニングを意識した実践をご紹介します。

先人の知恵や教訓が詰まったことわざについて学んだことが、子どもたちの日常につながり、学ぶことの楽しさや価値を実感してほしいと思い、次のような授業を考えました。

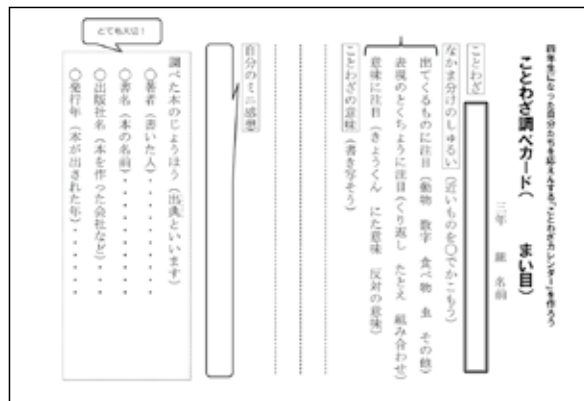
## 2. 学びのエネルギーをつくるための導入

最近では、メッセージつきの日めくりカレンダーがあります。ここに、ことわざの学習を結び付けられないかと考え、「4年生になった自分たちを応援する『ことわざカレンダー』をつくろう」というめあてを立てました。一人が1日分のカレンダーのページを作成し、全員で合わせれば1ヶ月分のカレンダーが完成です。

子どもたちは「すごく楽しそう!」「どんなことわざを選ぼうかな?」とやる気満々です。この時、完成形のフォーマットを提示することで、ゴールの姿がイメージできます。

## 3. ことわざの調べ方

「自分たちの新学年での生活を応援するのにふさわしいことわざを探す」という明確なめあてがあるので、選ぶ段階で、取捨選択の意識が働きます。候補となりそうなことわざを、意味や使い方、分類、自分の感想、本の出典などととも一人5枚以上を目安にワークシートに書き溜めていきます。



## 4. 「ことわざカレンダー」編集会議

この単元で重要なのは、編集会議です。最初から分担を決めておけば、学びの価値も半減します。

ここで、調べたことわざを出し合って、カレンダーに載せるかどうかを真剣に話し合います。選んだものを精選し、内容の重複も考えます。「Aさんの選んだことわざは、4月の最初の方に入れたらいいんじゃないかな」「僕はこのことわざを載せたいけど、内容についてどう思う?」など、共感的な態度で話し合うことで、「みんなで作り上げた」という達成感を得ることができます。

会議で決まった内容を元に分担を決め、ページを作成し、日付順に並べて表紙をつけると完成です。

新学期の初日。どのクラスにも、自分たちでつくったカレンダーが掛けられています。楽しそうにカレンダーをめくったり、ことわざに関連させて今日の振り返りをしたりする子どもたちの姿から、授業で学んだことが自身の生活につながっていることを感じさせられます。

子どもたちが学ぶことの意義や価値を実感できるような授業を、これからも考えていきたいです。

